

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 三好 親
 幹事 伊藤 健文
 広報・会報委員長 吉田 玄

No. 13

地域を育み、大陸をつなぐ

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS

2010~2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

今日の例会

第1335回 平成22年10月12日(火)

講演

“名古屋少年友の会～設立40年・少年との関わり”
名古屋少年友の会副理事長 岩井充子様

先週の例会

第1334回 平成22年10月5日(火)晴

職業奉仕月間 優良従業員表彰

◆君が代

◆奉仕の理想

◆ゲスト紹介

社会福祉法人高針福祉会特別養護老人ホーム極楽苑
 事務長兼サービス統括マネージャー 北井 利樹様
 伊藤書道会館 師範 木田 柳波様
 師範 須田 静波様

◆出席報告

会員 43(37)名 出席 32名
 出席率 86.49%
 前々回 9/21(修正出席率)92.31%

伊藤幹事報告

- 1) 本日例会終了後、指名委員会を開催致しますので指名委員の方は4階楓の間にお集まり下さい。
- 2) ロータリーの友10月号が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

三好会長挨拶

こんにちは本日は職業奉仕活動の一環として優良従業員の方を表彰させて頂きます。

表彰者の北井利樹様、木田柳波様、須田静波様ようこそおいで頂きました。ごゆっくりお過ごし下さい。

人とかかわり、時として苦痛であります。特にそのかかわりを断ちたくても断つことの出来ないのが会社です!!やはり、一人で漁師が一番。良くて悪くても全て自分ですから。名勝負!!スポーツでもそれ以外でも、いろいろな場面で云われることです。

その中の1つ、たまたま2~3週間前の新聞に少し記事がありました。

今から31年前夏の甲子園です。延長18回激闘を制したのは尾藤監督率いる箕島高校でした。途中、12回、16回と考えられない様なドラマが何度もありました。“あのファウルを取っていたら・・・。”“あそこでバントしていたら・・・。”そんな思いが、勝ったチーム・負けたチーム選手全員、監督、見ている人皆それぞれ思ったことでしょう。

いわゆる「タラレバ」の世界です。

両チームそれぞれ、その後の人生は「悲喜交々」特にファウルフライを落球し、星陵の負けに貢献してしまった加藤君は、その後様々な誹謗中傷に悩んだそうです。

そして何十年経って、当時のメンバーが親善試合をし、見事星陵が勝ち甲子園の雪辱を果たしたとの事。そして加藤君は耐えて、耐えて親善試合ではわざと転んで落球し、当時を再現したそうです。

結果とありますが今では皆50歳を越え2人の監督も70歳前。雪辱を果たした星陵高校の1塁ベンチや室内練習場、「山下監督の言葉」としてこんなことが書いてあるそうです。

「心が変われば行動が変わる!

行動が変われば習慣が変わる!

習慣が変われば人格が変わる!

人格が変われば運命さえ変わる!」

自分が変われば運命も変えられる!

最初から運命だからといって諦めるのではなく、とことん努力してみる事も大切なのでは!!

◆萩原国際奉仕委員会米山担当より寄付のお願い

今年度米山を担当させて頂いており、9月9日の米山委員会での米山奨学について新しく入られた方には特にご説明くださいとお話がありました。

(財)ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学財団です。

1967年に財団法人として設立の許可を受け、これまでに世界119の国・地域出身の15,776名(2010年4月現在)におよぶ外国人留学生を支援し、今日では、事業規模と採用数において、民間で最大の奨学団体となっています。

本日お手元に寄付のお願いをしております。

あくまでも強制ではありませんが、宜しくごお願い申し上げます。

宮尾職業奉仕委員長挨拶

今月は職業奉仕月間です。本日は優良従業員表彰で、日頃RC活動が出来るのも、会社を支えてくれている従業員の方々のお陰です。感謝のしるしとして、優良従業員の方々を表彰したいと思います。

又、今月26日は職場例会ですので、沢山の方々の参加を御願い致します。



優良従業員表彰



◆加藤重雄君より挨拶

社会福祉法人高針福祉会が設置経営しております特別養護老人ホーム「極楽苑」の事務長兼、サービス総括マネージャーの北井利樹を推薦させて頂きました。

彼は山梨県甲州市出身で東京都内の理科系大学を卒業、大学で学んだことを活かそうと都内の環境関係のベンチャー企業へ就職しましたが先のバブル経済の崩壊と共に会社は経営が悪化、退職せざるを得なくなり、求職活動をしていたところ、掛川市の身体障害者療護施設学校法人特別支援学校「ねむの木」指導員として勤務。

その後、奥様の実家が名古屋という事で、出産を機に名古屋へ転居、就職先を探していたところ縁あって「極楽苑」へ就職され現在に至っております。

今までの障害児童との生活から高齢者の介護と仕事の内容の変化に少し戸惑いもあった様ですが、介護福祉士の資格はもちろん、経験5年以上実務経験が必要な国家資格である介護支援専門員(ケアマネージャ)も努力でいち早く取得、その使命の為に毎日汗を流し頑張っています。本年4月から極楽苑の事務長兼サービス総括マネージャーに就任し、施設経営にも参画してもらっております。

◆北井利樹様よりお礼の挨拶



本日はこのような場所にお招き頂き誠に有難うございます。

縁あって「極楽苑」へ介護職員として就職しました。

就職後は介護福祉士の資格・実務経験が必要な国家資格である介護支援専門員も取得致しました。日本の繁栄

に寄与されていらっしゃる方々へ献身的な介護を行い、折しも社会保障費の抑制政策がとられ介護報酬が2度に渡って引き下げられ労働分割率が上がらないとう

悪条件になり多くの介護職員が離職していきましましたが、離職職員の穴埋めに入ったり、休日出勤の繰り返しをしたりサービスの低下にならないよう支援をしてまいりました。

今後もこの賞に恥じないよう、より一層、頑張っております。

◆伊藤健文君より挨拶

本日は書道会館より二名の優良従業員を表彰して頂き誠に有難うございます。

木田柳波さんは、小学校二年生の頃から習字をならい始め、大学時代には助手として私を助け、現在では当会館の事務、師範、又中日文化センターの書道講師として、後進の者を指導しております。須田静波さんは、中学生の時に入門され、大学時代から助手を務められ、現在は当会館の師範、又、各支部教室で教師として活躍されております。

二名共、松風書道会の常任理事、興文書道会の理事の役職を持ち、書道界でも重要な人材として注目されています。又、二名共書道教授20年以上のキャリアを持ち、書道芸術、教育書道の新興のために活躍されています。これからも活躍を願い、ここに優良従業員として推薦申し上げます。

◆木田柳波様よりお礼の挨拶



本日はこのような晴れ晴れしい場で表彰して頂きまして有難うございました。私は小学校二年生の時より伊藤昌石先生に書道を教えて頂き、先生の書のお美しさに惹かれ、先生のお手伝いをさせて頂いて20年程となります。ここまで続けてこられたのも先生の温かいお人柄、そして先生のご家族や伊藤書道会館の諸先輩方の支えがあってこそ、と日々感謝しております。

今日頂いたこの賞を励みとして、これからも精一杯努めて参りたいと思います。誠に有難うございました。

◆須田静波様よりお礼の挨拶



本日は立派な賞を頂きまして、誠にありがとうございます。

私が伊藤書道会館に勤めさせて頂きまして20年以上が過ぎましたが、先生の所に弟子としてご縁頂いたのは、それより15年もさか上ります。ですから、私にとってはお仕事というよりも勉強のつもりでお手伝いをさせて頂いております。そして好きな事を仕事にすることが出来ましたことを大変幸せに存じます。

今日のお褒めを今後の励みに、今まで育てて下さった方に、少しでも恩返しができるように精進を重ねてまいりたいと存じます。

本日はありがとうございます。

◆ニコボックスは次回掲載させて頂きます。

次回例会 平成22年10月19日(火)

3階 錦の間

友 愛 の 日